

東急アクセラレートプログラム2019 Demo Dayを開催 ～東急賞は家具のサブスク「株式会社subslife」が受賞～

東急株式会社

当社は、3月23日(月)に Shibuya Open Innovation Lab (SOIL)において、スタートアップのビジネス展開を支援する「東急アクセラレートプログラム2019」(以下、当プログラム)の Demo Day(以下、デモデー)を開催しました。今年度のデモデーでは、「東急賞」「渋谷賞」「二子玉川賞」「SOIL賞」を決定し、東急賞には、株式会社 subslife(以下、subslife)を選定しましたので、お知らせします。

subslife は、家具・家電をサブスクリプションモデル(以下、サブスク)で提供し、良いものを長く使う社会づくりを目指して、サブスクによって家具・家電に関するあらゆる手間とコストの問題解決に取り組んでいる企業です。10万種超の豊富な商品ラインナップや、納品前に内装や家具のコーディネートもサポートすることで、店舗やオフィスなどのクリエイティブな空間づくりを応援しています。

事業共創を行う東急モルズデベロップメントとは、2020年3月23日から、同社が運営するショッピングセンターのテナントに対して家具・家電のサブスクを提供することで、出店時・改装時の費用負担を軽減し、新規出店・改装の促進を図ります。また、SHIBUYA109エンタテイメントとは、SHIBUYA109が監修・サポートし、若年層のインテリアに関するニーズ調査・企画開発を実施予定で、SHIBUYA109の SNS・ニュース媒体から subslife 特設ページへ誘導し、旬なインテリアコーディネートをサブスク家具で提供する企画を開始予定です。

デモデーでは、審査員による協議の結果、今後成長が期待されるサブスクの中でも、幅広い顧客接点を持つ東急グループとの親和性が高く、事業共創の広がりががあると判断し、東急賞に選定しました。そのほかの5社とも、東急グループの事業資産を活用したテストマーケティングを実施し、その結果によって今後業務提携などを検討します。

2019年度で第5期目となる東急アクセラレートプログラムは、事業共創を行う新たなグループ企業として、東急不動産ホールディングス株式会社、東急セキュリティ株式会社、株式会社東急パワーサプライが加わり、一層幅の広い顧客接点の選択肢を備えたプログラムへと進化をさせてきました。第4期から通年応募制を採用していますが、第5期では応募から一次審査結果の通知期間を1か月から2週間に短縮させ、また、東急グループ参画事業者が求める技術などの共有リスト整備を進めるなど、従来よりも取り組みの質・量・スピードをさらにレベルアップさせました。また、SOILという拠点を設けたことで、より効率的にマッチングを行えるようになり、東急グループとは共創が進まなかったスタートアップでも他の大企業に紹介を行うなど、自社利益にこだわらない支援を行っています。2019年度は、3月19日時点で124件の応募(過年度累計634件)があり、東急グループ18社(26事業者)と事業共創の検討を随時行っています。

2020年度からは東急グループ既存事業の周辺領域に留まらず、東急グループの事業アセットを活用できる、新たな領域における価値創出に挑戦していきます。

当社は今後も、スタートアップ企業との事業共創によって多様化するニーズに迅速に対応し、イノベーティブなまちづくりを行います。デモデーの各賞受賞企業、各企業との事業共創内容、当プログラムの概要は別紙のとおりです。

以上



▲「東急アクセラレートプログラム2019」Demo Day授賞式の様子(左:登壇6社代表・右:東急賞「subslife」代表と共創企業)

※本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Web会議サービスなどを活用して開催しました。

【別紙】

「東急アクセラレートプログラム2019」 Demo Day開催概要及び受賞企業

■開催概要

- ・日 程: 2020年3月23日(月) 15時00分～18時00分
- ・場 所: Shibuya Open Innovation Lab(SOIL)
(住所/東京都渋谷区渋谷一丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階)

■受賞企業

- ・東急賞(賞金1,090,000円):株式会社 subsclife
- ・渋谷賞(賞金428,000円):バルス株式会社
- ・二子玉川賞(賞金250,000円):株式会社 Luup
- ・SOIL 賞(賞金100,000円):SELF 株式会社、株式会社空、株式会社 FUN UP

■審査員

(外部審査員)

- ・グローバル IoT テクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 安達 俊久 氏
- ・デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 代表取締役社長 斎藤 祐馬 氏
- ・SBI インベストメント株式会社 CVC 事業部長 加藤 由紀子 氏
- ・Spiral Capital シニアアソシエイト 立石 美帆 氏

(当社審査員)

- ・東急株式会社 取締役社長 高橋 和夫 (審査員長)
- ・東急株式会社 執行役員渋谷開発事業部長 東浦 亮典
- ・東急株式会社 執行役員沿線生活創造事業部長 金井 美恵

■Demo Day登壇企業との事業共創内容

1. 株式会社 subsclife

【共創企業:株式会社東急モールズデベロップメント、株式会社SHIBUYA109エンタテイメント】

- ・所在地:東京都渋谷区神宮前4-3-15 東京セントラル表参道218
- ・代表者名:町野 健
- ・設立年月:2016年11月
- ・サービス名:subsclife(サブスクライフ)
- ・会社 URL: <https://subsclife.com/>

○事業共創内容

家具・家電をサブスクで提供する subsclife は、良いものを長く使う社会づくりを目指して、サブスクによって家具・家電に関するあらゆる手間とコストの問題解決に取り組んでいます。10万種超の豊富な商品ラインナップや、納品前に内装や家具のコーディネートもサポートすることで、店舗やオフィスなどのクリエイティブな空間づくりを応援している企業です。

本プロジェクトでは、東急モールズデベロップメント、および SHIBUYA109エンタテイメントの2社と事業共創を行います。東急モールズデベロップメントとは、2020年3月23日から、同社が運営するショッピングセンターのテナントに対して家具・家電のサブスクを提供することで、出店時・改装時の費用負担を軽減し、新規出店・改装の促進を図ります。また、SHIBUYA109エンタテイメントとは、SHIBUYA109が監修・サポートし、若年層のインテリアに関するニーズ調査・企画開発を実施予定で、SHIBUYA109の SNS・ニュース媒体から subsclife 特設ページへ誘導し、旬なインテリアコーディネートをサブスク家具で提供する企画を開始予定です。今後は、東急モールズデベロップメントは商品ラインナップの拡充を図り、ショッピングセンター内にモデルルームの展開を検討、SHIBUYA109エンタテイメントは商品ラインナップの拡充に加えて不動産業と連携した家具付き賃貸やイベント開催時における連携などへの発展も見据えて事業共創を進めることにより、subsclife と東急グループで、日本の消費者の生活・企業の空間をより豊かにすることを目指します。

2. SELF 株式会社

【共創企業:株式会社東急百貨店】

- ・所在地:東京都新宿区西新宿6-15-1 6階
- ・代表者名:生見臣司
- ・設立年月:2014年11月
- ・サービス名:SELF LINK (セルフリンク)
- ・会社 URL:<http://self.systems>

○事業共創内容

SELF 株式会社は”ユーザーをより深く理解すること”を実現する、”高度なコミュニケーションの自動化エンジン”を開発し、それを活用したスマホ対応アプリ「SELF」を提供してきました。

そして今回、その適用範囲を広げ、接客・セールスに活用可能な「SELF LINK(特許出願中)」を新たに開発しました。この SELF LINK は”ユーザーをより深く理解する技術”に、”商品要素を理解し解析する技術”を組み合わせることで、実店舗での接客会話や提案を、オンラインショップ上で可能とする「セールスオートメーション」システムです。

本プロジェクトでは、「SELF LINK」の初の社会実装の舞台として、2020年4月13日から東急百貨店ネットショッピングにて「母の日」「ギフト」「ワイン」の3つのジャンルにてオンライン上で AI による接客を実施します。東急百貨店が実店舗で培ってきた対話接客のノウハウと SELF のリアルなコミュニケーションの自動化技術を組み合わせ、オンラインショップにおける新たな価値の共創に取り組んでいきます。さらに将来的には、本プロジェクトの継続拡大に加えて、得られた経験やノウハウの横展開を図り、東急グループの他の事業領域においても、SELF LINK を活用したオンライン上での商品の購買・予約・問い合わせの新たな顧客体験創出を目指します。

3. 株式会社空

【共創企業:東急ライフ株式会社】

- ・所在地:東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル11階 PORTAL POINT YURAKUCHO
- ・代表者名:松村大貴
- ・設立年月:2015年4月
- ・サービス名:MagicPrice(マジックプライス)
- ・会社 URL:<https://www.sora.flights/>

○事業共創内容

「世界中の価格を最適化し、売り手も買い手も嬉しい世界を作る。」をミッションに掲げる PriceTech Company の空は、SaaS 型プライシングサービス「MagicPrice」を展開しています。ホテル業界では東急ホテルズなどの多くのホテルチェーンによる活用が進んでいるほか、高速バスや小売りなど、さまざまな業界においても、試験導入や実証実験を始めています。

本プロジェクトではあらゆるサービスでの価格最適化を目指す空と、駐車場の価格設定の新たな手法を模索する東急ライフとのニーズが合致し、コインパーキングの価格最適化および価格設定作業の効率化に向けた検討を進めています。まずは、2020年4月ごろからコインパーキング約90拠点において、オンライン上での周辺相場情報から最適価格を算出し、価格変更の検討に活用するトライアルを行う予定です。

将来的には、オンライン上でフレキシブルに最適価格を設定できるようにプロジェクトを進めていきます。さらには、ホテルや駐車場に留まらず、幅広い事業領域を展開する東急グループと空で、東急線沿線のあらゆるサービスの価格を最適化し、なめらかな世界の実現を目指します。

4. バルス株式会社

【共創企業:株式会社東急レクリエーション】

- ・所在地:東京都千代田区外神田五丁目2番2号 6階
- ・代表者名:林範和
- ・設立年月:2017年10月
- ・サービス名:SPWN(スポーン)
- ・会社 URL:<https://balus.co/>

○事業共創内容

リアルとバーチャルの融合で新たな体験を創造する XR Tech カンパニーのバルスは、ライブエンタテインメントを身近にすることを目指し、XR ライブプラットフォーム「SPWN」を展開しています。「SPWN」は、世界中のあらゆる場所でパフォーマンスができ、楽しめるライブシステムであると同時に、チケット、物販、デジタルコンテンツまで完結するため、どのような場所で開催しても収益化の際の労力を省力化できるプラットフォームです。本プロジェクトでは、ファン参加型の次世代ライブによる新しい体験の創出を目指して、2019年10月から、東急レクリエーションが運営する109シネマズ大阪エキスポシティにて、バーチャルアーティストによるライブビューイングのテスト興行などを実施してきました。テスト実施や本年度行った109シネマズ川崎の興行およびラゾーナ川崎における商業施設での活用といった結果を踏まえて、現在は、全国の109シネマズへの展開拡大、バーチャルアーティストに限らずリアルアーティストのライブイベント網の拡大、沿線施設を使った新しい XR ライブコンテンツの共同制作など、今後の発展に向けて両社で協議を進めていくことにより、XR テクノロジーを活用した楽しみ・感動の創出・提供を目指します。

5. 株式会社 FUN UP

【共創企業：株式会社東急百貨店】

- ・所在地：東京都渋谷区恵比寿4丁目20-4 ガーデンプレイスガラススクエア B1
- ・代表者名：山口絵里
- ・設立年月：2011年9月
- ・サービス名：monomy（モノミー）
- ・会社 URL：<http://fun-up.jp/>

○事業共創内容

スマートフォンで簡単に欲しいモノがつくれる次世代モノづくりプラットフォーム「monomy」を展開する FUN UP は、モノを介して個の価値が最大化する新たな製造市場をつくることを目指して事業を展開しています。本プロジェクトでは、2020年5月から、東急百貨店が運営する渋谷ヒカリエ ShinQs にて、テストマーケティングを行います。テストマーケティングでは、monomy 内で D2C ブランドを立ち上げ展開する人気インフルエンサーによる初のリアル店舗展開をし、ブランドの世界観を体現します。同時に、全国に広がる monomy の工場ネットワークから集めたサステナブルな素材のパーツを展示し、物語や生産背景を伝え、在庫レス、キャッシュレスな OMO の新たな購買体験を monomy を通して提供します。将来的には、アクセサリ以外のモノづくり分野への拡大も検討していきます。FUN UP と東急百貨店で、全国の工場や職人と場所、コミュニティがデジタルで繋がるモノづくり連携を進め、日本の地域活性を目指していきます。

6. 株式会社 Luup

【共創企業：東急電鉄株式会社、BECAMEX TOKYU CO.,LTD.(ベガメックス東急)】

- ・所在地：東京都渋谷区東1-8-4 1-2階
- ・代表者名：岡井大輝
- ・設立年月：2018年7月
- ・サービス名：LUUP（ループ）
- ・会社 URL：<https://luup.sc/>

○事業共創内容

高齢者も若者も外国人も乗れる電動小型モビリティのインフラをつくることを目標に掲げる Luup は、アプリ内で電動モビリティを探し、好きな場所で借りて好きな場所で返却ができるシェアリングサービス「LUUP」を開発しています。

本プロジェクトでは、電動小型モビリティを「街の毛細血管」として活用し、沿線の街中をつなげることを目指して、東急電鉄およびベガメックス東急の2社と事業共創を行います。東急電鉄とは、電動小型モビリティのシェアリング型ポートの高密度展開、および「東急線・東急バス サブスクパス」での電車・バス・生活サービスとの連携に向けて準備を進めています。また、東急グループの商業施設やリテール施設、オフィスビル等と連携して、街全体に電動小型モビリティを配備し、より住みやすく選ばれる沿線の街づくりに向けた取り組みを進めています。ベガメックス東急とは、ベトナム・ビンズン省で展開しているビンズン新都市内において、2020年度内を目途に電動キックボードの実験導入を予定しています。これらの取組により、Luup と東急グループで、誰でも気軽に快適に街中を移動できる都市空間づくりを進めていきます。

【別紙】

「東急アクセラレートプログラム」について

■概要

2015年度から、スタートアップ企業との事業共創を図る「東急アクセラレートプログラム」を実施しています。本プログラムを通じて、渋谷を東急線沿線の生活利便性を高める新たな価値創出の場にするだけでなく、スタートアップ企業の持続的成長を実現するグローバルなイノベーション拠点にすることを目指しています。

「交通」「物流・倉庫」「不動産」「建設」「百貨店・スーパー・ショッピングセンター」「広告・プロモーション」「デジタルマーケティング」「カード・ポイント・ペイメント」「スマートホーム・スマートライフ」「ツーリズム」「ホテル・ホステル」「エンターテインメント」「スポーツ」「ヘルスケア」「教育・カルチャー」「電力」「セキュリティ」の17の事業領域を中心に、東急線沿線の生活利便性を高めるBtoC、BtoBtoCのサービスやプロダクトを募集。審査を通過した企業は、東急線沿線に集積する東急グループの広告媒体や施設、顧客基盤、営業網、株式会社東急総合研究所の各種調査データなどを利用したテストマーケティングを行えるほか、当社との業務提携なども検討します。

2018年度からは24時間365日応募受付をしています。該当月末で締切り、翌月に一次選考(書類)、翌々月に二次選考(プレゼンテーション)を行い、事業共創のブラッシュアップを重ねてきました。

なお、2019年度デモデー各賞受賞対象企業は、今年度、テストマーケティングなどの事業共創を開始、もしくは実施することが決定した企業が対象です。デモデー後は、引き続き事業共創を進めていく予定です。

■東急アクセラレートプログラム参画企業一覧(全17社※・五十音順)

- ・ イッツ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ Connected Design株式会社
- ・ 株式会社SHIBUYA109エンタテイメント
- ・ 東急株式会社
- ・ 株式会社東急エージェンシー
- ・ 東急カード株式会社
- ・ 東急建設株式会社
- ・ 株式会社東急シェアリング
- ・ 株式会社東急ストア
- ・ 東急スポーツシステム株式会社
- ・ 東急セキュリティ株式会社(2019年度から参加)
- ・ 株式会社東急総合研究所
- ・ 東急電鉄株式会社
- ・ 株式会社東急パワーサプライ(2019年度から参加)
- ・ 株式会社東急百貨店
- ・ 東急不動産ホールディングス株式会社(2019年度から参加)
- ・ 株式会社東急ホテルズ
- ・ 東急メディアコミュニケーションズ株式会社
- ・ 株式会社東急モールズデベロップメント
- ・ 株式会社東急レクリエーション